

中学校再編にかかる質疑応答

パブリックコメント実施中に様々な団体の会合にお邪魔して40回の説明の機会をいただきました。

そこでの質疑の内容は下記のとおりです。

御協力くださった各種団体の関係者の皆様に感謝いたします。

皆様から頂いた課題を解決しながら、令和8年4月1日に魅力ある中学校再編が実行できますよう、中学校再編調査検討委員会の皆様と協議を重ねてまいります。

記

No.	分類	質問	回答
1	再編時の不安等に関する事	再編時中2、中3になる子どもには1年生から入学できる選択肢を与えてほしい。	現在は校区外通学の基準があります。他県では再編日に先駆けて生徒が一斉に移動した例も見られます。過渡期の生徒に不利益や心配が出ないように、学級編制の工夫や人事異動の工夫などについて、各種委員会の中で研究していただく予定です。
		中2や中3からの合併は子供にとって友達関係などのいろいろな問題が出てくるのは目に見えていると思うので中1にあたる子たちからの合併にしてもらいたい。特に中3は受験もあり、メンタル的にも重要な時期だと思う。途中からの合併は反対したい。多様な発言がプラスに働くとは限らない。	今後、各種委員会の中で友達関係については、できるだけ影響が出ないように、小学生の段階から交流していくように計画していきたいと思います。また、受験についても支障が出ないように配慮していきたいと思います。
		令和8年4月時点での中学2年生、3年生は現在の中学校で学び卒業できないか。	御意見を参考に各種委員会の中で小学生の段階から交流していくように計画したり、受験について支障が出ないように注意したりして、中2、中3対策を考えていきたいと思います。
		子どもが中3のときに中学が一つになるのですが、小中一貫校は中学校を1校にする必要がありますか？受験を間近に中学が1校になるのは親としては戸惑っています。	保護者の不安を取り除けるように、各種団体等に出向いて説明を行い理解を深めているところです。また、小中一貫校についてもそのメリットとデメリットを比較して中学校再編の必要性を確認したところです。これまでの成果は十分に把握しているので、その成果を生かせるようにしたいと思います。
		中学3年生での再編となります。できるなら、中学3年生は同じ小学校で一クラスとして、他校の子と混ざらないよう配慮をお願いします。	高校入学の際に多数の生徒の中に入る精神的負担と比較しながら生徒にとって良い方法を各種委員会の中で検討していきたいと考えております。御意見を参考に学級編制や教職員構成の工夫についても研究していきたいと思います。

中学校再編にかかる質疑応答

2	通学方法等に関する事	具体的な通学方法について教えてもらいたい	徒歩、自転車、路線バス、コミュニティバスに加えて、スクールバスを考えています。
		○コミュニティバス、スクールバス活用も市で全額負担を願います。 ○部活動等も重視をされての再編ならば時間帯も考えて遠方の生徒へバスの提供をお願いします。	○コミュニティバスやスクールバスの活用は今後検討していく重要課題の一つととらえております。 ○部活動を重視した再編とは考えていませんが、部活動生の登下校についてももしっかり検討していきます。
		バスの乗降場所も気になります。	スクールバスの乗降場所については安全面や利便性などをきちんと考慮していきます。
		自転車通学はどの程度の距離を考えてますか	他県等の状況を参考に今後決まっていくことになりますが、6km以上をバス通学としている地域が見られますので、自転車通学の距離も6km前後が境界になる可能性があります。
		学習時間の確保ができるのか。	個々の学習時間の確保については新中学校で工夫していくこととなります。学力向上は最大の課題と受け止めております。
		小学校のバス通学の補助もないのに(3年生から実費です。年間2万5千～3万近くかかります)中学生をバス送迎する予算はあるのでしょうか。中学生だけでなく小学生への補助も考えてほしいのですが。義務教育ですよね。学校から遠くに住んでいるのが悪いのですか？部活動などによっては帰宅のバスの時間がばらばらになりませんか？その場合それに合わせて運行してくれますか。	現在は、現行の通学費補助制度に沿った対応がなされていると思います。遠距離通学の生徒に通学の負担がかからないように工夫していかなければいけないと考えています。また、保護者の負担についても軽減を図る必要があると考えています。
3	地域活動等に関する事	中学校再編は仕方のないことと考えております。 ○再編前後はどうなっていくのか ○地区での交流をどうするのか	○再編前後の混乱はできるだけないように計画的に再編を進めていくことが必要であると考えております。 ○各小学校区での中学生を含めた地域活動の充実を図りたいと考えております。
		一極集中にすれば妻地区以外の地区の過疎化が進む。人口減少が進むことは何十年も前から分かっていたことです。もうすでに手遅れかもしれませんが、子育て世代を大切にしないと西都市の衰退は免れないでしょう。	中学校再編は西都市の中学生を考えると最善の方法であると考えています。先進地の情報を参考にしながら今後の再編を推進していきたいと思えます。地域の過疎化については、西都市を多面的・多角的にとらえていく必要がありますので、教育委員会だけでなく全市を挙げて考えていくべき大きな課題であると考えております。

中学校再編にかかる質疑応答

4	制服等に関する事 こと	制服や学校教材等はどのようにしていく予定なのか。	制服や教材については新中学校設立推進委員会を立ち上げ、各部会の中で検討していくことになると思います。
		中学2、3年生からの妻中への入学の場合、元の制服(シューズ、バッグ等)をそのまま使用できると伺いましたが事実でしょうか。	制服等については今後の検討課題として挙がっていますので、保護者の負担ができるだけ少なくなる方向で検討していきたいと考えます。
		制服は統一するのか。(お下がりを考えている人もいる)	制服等については今後検討していきますが、他県等の状況を見ると統一していくことになると思います。
5	部活等に関する事 こと	中学校再編は仕方のないことと考えております。 ・市内一つの中学校では部活動の試合などがやりにくいのではない か	・部活動の在り方も検討課題の一つです。チーム内で切磋琢磨したり、他校との交流を深めたりしながら、充実した部活動が展開されるよう期待しています。
		○部活の終了時刻は統一するのでしょうか。 ○仮に部活動に入部できない場合、調査書等公平に対応してくだ さるのでしょうか。	○現在も同一校の部活の終了時刻は統一されていますので部によって終了時刻が違うということは考えていません。 ○部活動の実績は進学材料として特別に大きく扱われるものではない と思います。
		妻中学校にある部活に入りやすいよう、妻地区小学校のクラブ等に 小規模校から行けるようにしてほしい。	スポーツ少年団の加入については現在も学校区は特に関係ありません。 部活動については生徒や保護者の関心の最も大きな部分であると認識 していますので、関係課とも協議していきたいと考えます。
6	助成等に関する事 こと	制服、自転車、バッグ等の購入の補助金はあるのでしょうか。長男の 制服が使えればそれを使いたい。購入するとなると20万円くらいか かるのでなかなか厳しいので通学費補助だけでなく制服等の方にも補 助してほしいです。	基本的には就学援助の制度で対応していくことになります。必要があれば 就学援助の制度の変更を検討していくことになります。
		スクールバスは一部補助になるのでしょうか？市の再編計画であ れば、全額市の負担であるべきだと思います。	スクールバスについては検討課題に挙がっており、各種委員会の中で利 用保護者に負担がないよう検討していきたいと考えております。

中学校再編にかかる質疑応答

7	その他	小中高連携とありますが、中学校を統合してしまうと小学校の児童はとてま少なくないそうですがどのようにお考えでしょうか。 小中の連携をお聞きしたいです。	小学生については、これまで以上に地域との連携を深めるなど、地域の中で育てていく体制の整備に取り組んでいきたいと考えています。小中連携につきましては、さいと学や地域行事を通して小学生と中学生の交流を維持していきたいと思っています。
		学校名は何という中学校になるのか	校名についても検討課題に挙がっていますのでこれから検討していくことになります。
		子どもの人口を考えるとよい計画だと思います。今の中学生たちが母校がなくなるのはかわいそうだと思います。	ありがとうございます。卒業生の思いを受けて各学校の閉校式典を開催したいと考えます。
		中学校再編は仕方のないことと考えております。 先生たちはどう思っているのか気になります。	生徒、保護者、地域の方々の思いにばかり気を取られがちですが、先生方の再編に向けての意識の高揚はたいへん大きな課題と考えています。
		妻中学校が小規模校になる恐れがあるから再編するように聞こえますが、これまでも妻地区以外の小中学校は1クラスでした。市は何も動きませんでしたよね。今日の話は何も伝わってくるものがありませんでした。時間がもったいないです。	妻中学校のみを考えれば現在のところ再編を考える必要はありませんが、その他の中学校の生徒について、現状を改善し魅力ある中学校として再編することを考えていきたいと思っています。
		将来西都市の中学校に通う世帯(今の保育園や幼稚園)の保護者にも説明すべきだと思います。1年でも早く西都市の中学校が一つになり魅力ある中学校ができるといいと思います。	今後説明会の範囲を広げ、実際に新中学校に子供を入学させる保護者に対しても丁寧に説明していきたいと思っています。今回は各幼稚園、認定こども園、保育所等の保護者あてにチラシの配布を行いました。
		デメリットだけ出されているが小規模校であることのメリットもあるはず。一部の生徒の発言に影響を受ける授業になるとあるが、そうならない学級経営するのが担任と保護者の責務ではないのか。責任放棄に他ならない暴論である。	検討委員会の中では一人一人に目が行き届くなどの小規模校のメリットもしっかり洗い出しをしてあります。御指摘の説明箇所につきましては、固定化した人間関係による弊害を例として挙げたものです。学級経営等についての職員の研修は今後も継続的に必要であると考えています。
		まだまだ保護者と学校関係者、地域の方との話合いの時間が必要だと思います。子どもたちの学力向上などのことも考えると、大人数で学んで競い合って切磋琢磨するのは大切だと思いました。	学校再編が魅力的で有意義なものになるように、調査検討委員会や新中学校設立推進委員会の中で、話合いを進めていきたいと考えます
		中学校再編とは初めてのことで不安だらけだと思いますので、安心できる情報を定期的に説明する機会・資料などを作ってほしいです。	広報さいとや市ホームページなどで定期的に情報提供していきたいと考えています。